

令和七年

松香 Komunikado

令和七年十二月度 月次祭 ごあいさつ

分苑長 山本 健

Saluton al ĉiuj

ただいまは、令和七年度年の納の月次祭を、さすがしく齋行させて頂きました。準備して下さった方々、又オンラインを含め参拝して下さいました皆様方に、御礼申し上げます。

十一月十五・十六日に、亀岡天恩郷において、来年度の教団方針について、全国主会長会議が行われました。令和七年十一月十五・十六日 主会長会議の要旨は以下の通りです。

十二月十四日発行
第二百三十三号

大本松香分苑

豊橋市南牛川二・三・二〇

電話 ファックス

〇五三二・六三・二一七三

発行責任者 山本 健

一、会議開催前の教主様ごあいさつ

*会議に限らず自由に発言できる場がとても大事です。大本は凄いと凄いと力があるところと思っています。心一つにすると凄いと凄いと力があるところと。過去の二回の弾圧でも大本はみんなの力で蘇り、長生殿のご造営に大きな力を発揮しました。

*これは皆さんの心を一つにしないと大きな力を発揮する事はできません。

それぞれに力をお持ちですが気持ちちが分散して発揮出来ていないように感じています。

非常に勿体ないようにおもいます。皆さんが力を合わせて、一つの和合に向かうために、泣いたり喧嘩することいいとおもいます。

*自分の意見を言うことは大事です。違う意見をまとめることは難しく忍耐がいります。

最終的に神さまは皆さんの笑顔、喜んでいる姿が見たいとおもいます。

皆さんで力を合わせてこころ一つにさせていただくことをお願いしたいです。今がそのときとおもいます。

二、教団方針概要

(1) 教主様ご就任二十五周年と古希をお迎えになる。

五月四日に古希慶祝の「梅松祭」並びに全国愛善歌奉納大会

(2) 世の変わり目に建つ綾機神社(令和九年十二月完予定)

大本信徒だけでなく、綾部市民をはじめ国内はもとより世界中からも、自然との共生や精神的な豊かさを求め、真の世界平和を祈る人々が集まる場を目指して、「長生殿ご造営の総仕上げ」ともいえる綾機平の整備を進めてまいります。綾の郷献金をまだされておられない方は、少しでもされることをお勧め致します。

(3) 宣伝使とみ手代の御用

百年前(1926年)に天恩郷に宣霊者が建ち、大本宣伝使会が発足

み手代お取り次は個人の救済だけでなく、全人類の救済につながる御用。宣伝使育成を

(4) AIZEN(愛善)を求める時代に

大正十二(1923年)年夏、熊本の杖立てで、み手代誕生の頃、恒久平和の夢を描いてモンゴルをめざされた大正一四(1925年)年の人類愛善会創立これからの時代を担う青年信徒の要請を目的とした、新たな人材育成制度、基金の運用を開始します。

本年七月四部会(誠心会、直心会、青松会、青年部)協力のもと、日本・ブラジル・モンゴル青年合同「AIZEN SEMINARIO」を開催

私たちの使命は思っている以上に大きい

私たち一人一人が「心の岩戸」を開いて、大きな喜びと感謝をもって「神を柱に誠を杖に」これからのご神業にご奉仕させていただきます。

その他、霊祭課よりの報告で、日供料の納入が松香で64%となっていましたので、忘れずに収めていただきますようお願い致します。

又、綾の郷献金も松香分苑は、申込比95%で、全国平均の122%に比べて少なくなっていますので、皆様のご協力をお願い致します。又、新しい方も是非、少しでも結構です。綾機神社。大本の歴史資料館の建設のご献金にご協力をお願い致します。

以上が来年度の教団方針の要点です。詳細は、大本、みろくの世誌などにけいさいされるとおもいますので、ご参照ください。

次に、節分人型大祓いのご用ですが、一人でも多くの方にお勧めしましょう！

最後になりますが、今年も皆様のご協力によりまして、無事に一年間の行事を執り行うことが出来ましたことに心より御礼申し上げます。来年も相変わりました、松香分苑の皆が和合して、お世話活動、宣教活動のご用に、努めさせていただきたく思いますので、よろしくお願い致します。

寒暖の差が激しい、年末年始になるようですが、ご自愛くださいまして、良い年をお迎えください。

Koran dankon

青松会長会議に参加して

青松会長 塚田 正樹

この度、十一月二十二日二十三日と亀岡本部で四部（直心会・青年部・青松会・誠心会）合同の会長会議が行われ、青松会長会議に参加させて頂きました。

最初に教主様御面会もさせて頂き教主様の言葉の中で「これからは誠の心を持つ事が大事」と言う言葉が心に響きました。丁度、大本本部内紅葉も素晴らしく感動させて頂きました。各機関の青松会の活動等お聞きし、松香分苑でも何か出来たらと日々思っているのですが、オンライン懇親会他今後、何か実現出来たらと思いました。

一年に一度ですが、全国の青松会長と沢山お話が出来、二日間で沢山のお光を頂く事が出来たと思います。帰りはお陰様で清々しい気持ちで家路（横浜）に着く事が出来ました。